

# 東海国立大学機構 国立大学法人評価及び認証評価における優れた取組・長所（特色ある）とされた取組一覧【第3期中期目標期間】

## 岐阜大学

年月	評価種別	優れた取組・長所とされた取組
H29年3月	平成28年度教職大学院認証評価（教員養成評価機構）	<p>各科目は、「実践の省察と問題の発見」「事例分析と課題の析出」「実践の検証とプログラム開発」という3つのステップで構成されている。また、セメスターによって上限単位数を変えるなど無理のない学修の中で理論と実践の往還を促すよう教育課程に工夫がされている。</p> <p>実習については、連携協力校との良好な関係の上に、学生が安心して実習ができる環境作りがなされている。また、担当する大学教員も授業の指導や「定期的省察」「中間報告省察」「総括的省察」などで積極的に関わっており、全体として有機的に機能する教育課程となっている。</p> <p>特に現職教員学生の修了者について、多くの修了生が教育委員会事務局や学校管理職に登用されたり、各種教育賞や優秀教員表彰を受けたりと、学習の成果や効果が目に見える形で表れており、そのことがさらに県教育委員会や地域の評価を高くすることにもつながっている。</p> <p>平成29年度から実施される岐阜県教育委員会から学校管理職養成コースに派遣される現職教員学生の2年目の授業料免除は、岐阜大学の他学部・大学院にはなく、はじめての試みである。この取り組みから、教職大学院全体で学生の希望を受け止め、よりよい学修環境をつくろうとする意欲を感じ取ることができる。</p> <p>教育委員会の教職大学院への関わりは、現職教員学生の派遣及び修了後の処遇や教員の人事交流、連携協力校への人的手当など実務的な事案にとどまらず、教職大学院の枠組みや教育課程などの制度設計にまで密接に関わっている。密着しすぎると教職大学院の主体性を脅かすことにもなるが、現状はよい関係を築き、それが学生の学修や処遇にも反映されていると言える。</p>

R2年3月	令和元年度大学機関別認証評価（大学改革支援・学位授与機構）	<p>JR岐阜駅から徒歩5分に位置するサテライトキャンパスにおいて、「早朝クラス」を実施している。これは、柳戸キャンパスでの2限目の授業を受講可能となるように、通常より45分早い午前8時から1限目の授業を行うものであり、一部の全学共通教育科目を開講している。受講生数は開始初年度（平成28年度）の105人から、平成29年度は202人、平成30年度は149人となっている。本取組は、学生の時間の効率的運用に貢献している。また、「早朝クラス」の科目の中には、ネットワーク大学コンソーシアム岐阜加盟校の学生や、社会人に公開されている授業もあり、大学の学生以外との交流の場の提供にも寄与している。</p> <p>平成29年4月に医学系研究科・医学部は「医学教育IR室」を設置し、医学教育に関連するデータ収集及び解析を組織的に行い教育効果の改善に役立っている。とくに、学生一人一人が自分のリスクの程度を知ることの重要性を医師国家試験の合格率に關与する因子として特定し、指導方法を改善した結果、平成28年度に全国平均を下回っていた医師国家試験合格率が平成29年度以降全国平均を上回っているなどの成果を上げている。</p>
R2年12月	令和元年度に係る業務の実績に関する評価結果（国立大学法人評価委員会）	<p>（特筆すべき進捗状況）</p> <p>○ 地域創生への貢献と国際競争力の推進を目指した新たな法人「東海国立大学機構」の実現</p> <p>東海国立大学機構設立に向けて「スタートアップビジョン」を策定し、その実現に向け、重点4分野の教育研究拠点の整備を進めるとともに、大学の教育関係組織を連携させ、教育をデザインするアカデミック・セントラルの実現へ向けた取組を推進しているほか、事務組織として戦略的な人員の配置を目指し、財務会計システムの統一化などの業務の集約化や岐阜大学のイノベーション創出環境を整備・強化するため、東海国立大学機構に学術研究・産学官連携統括本部を、岐阜大学と名古屋大学にそれぞれ学術研究・産学官連携推進本部を設置することを決定するなど、大学の強みをさらに強化している。</p>

## 名古屋大学

年月	評価種別	優れた取組・長所とされた取組
R1年3月	平成30年度実施法科大学院認証評価結果（大学改革支援・学位授与機構）	<p>（特色ある点）</p> <p>研究者養成をも目的とした授業科目「テーマ研究Ⅰ」及び「テーマ研究Ⅱ」が開講されている。</p> <p>（特色ある点）</p> <p>主として法学未修者用に法律基本科目の授業全体をビデオ収録し、授業後に自習室で不明箇所の録画を再生することができる「お助け君ノート」を開発しており、復習を効果的に行うことができるよう学習支援の体制が整備されている。</p>
R2年12月	令和元年度に係る業務の実績に関する評価結果（国立大学法人評価委員会）	<p>（計画を上回って進捗）</p> <p>○ 「国立大学法人東海国立大学機構」の設立やそれに伴うスタートアップビジョンの策定、「アカデミック・セントラル」の立ち上げなど構想の達成に向けて、計画を上回って進捗している。引き続き、学長のリーダーシップの下、指定国立大学法人としての構想を効果的に推進することを期待する。</p>